



アベニュー通信 vol.6

株式会社アベニュー
〒242-0004 神奈川県大和市鶴間2-1-24-706
Tel: 046-271-5039 Fax: 046-271-5040
<http://www.avenue-jp.co.jp/>

2014年度 春号

糖尿病の治験に参加された患者さまの声を集めてみました!!

治験をきっかけに、まめに血糖値を測るようになり具体的に数値が把握できて、治療に前向きに取り組めるようになった。

日常診療では行わない検査をしたことで病気の早期発見が出来た。

治験薬が自分に合っていたので発売されるのが待ち遠しい。

食後血糖値が予想以上に上がっていてビックリしたが、運動により下がることもわかり、食事と運動の関係を身をもって実感でき、7P SMBGを実施して良かった。

コーディネーターさんからのこまめな電話や、優しい対応に励まされ、治療を頑張ろうと思った。

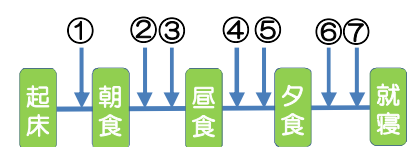
75g経口ブドウ糖負荷試験をして、インスリン分泌能検査により自分の体内でもインスリンが作られていることがわかり、運動して痩せたり、食事に気を付けるなどの努力をすれば血糖値が改善することが分かった。

- ・通常診療よりも…頻繁に来院が必要、拘束時間が長い、採血量が多い。
- ・細かい決まり事が面倒くさい。
- ・仕事をしていると、平日に7P SMBG実施するのは難しいため、休日でないとは実施出来ない。
- ・風邪を引いたので近医へ受診しようとしたが、飲んだ薬を報告するのが面倒で、他院へは受診しなかった。



7P SMBG実施後、自分の食後血糖値の目安がわかり、時々食後に測定して生活改善に活かしている。

7点自己血糖測定 (7P SMBG: 7-point Self Monitoring Blood Glucose)



患者さまのうっかり!

7P SMBGばかりに気を取られて…

- ・毎日実施すべき空腹時のSMBGを忘れてしまった。
- ・経口血糖降下薬を服用するのを忘れて、高血糖になってしまった。

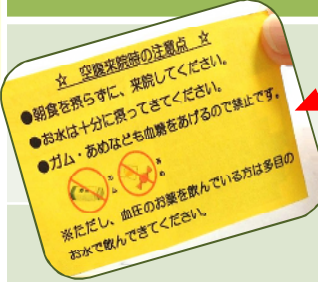
朝あわてていて、空腹時の自己血糖測定をせずに食事をしてしまった。

夕食後横になっていたら、食後の自己血糖測定をせずにそのまま朝まで寝てしまった。

夕食前の自己血糖測定をせずに仕事上がりのビールを飲んでしまった。

朝、空腹で来院しなければならないことはわかっていたが、ガムに糖分が含まれていることを知らずガムを食べてしまった。

CRCはこんな工夫をしています



来院時の注意点をまとめたカードを作成してお渡ししている。

空腹来院の前日に「ガムや飴なども駄目ですよ!」と具体例を出して電話している。

来院予定日に遅刻ばかりしていたので、当日モーニングコールをしたこともある。

事前に7P SMBG実施日を決めてもらい、実施予定前日や当日の朝に電話で依頼している。予定日の翌日には、「実施できましたか?」などの確認の電話をしている。

1回1錠1日3回 毎食後
を7日分1シートとして

7P SMBG実施の際には、食事を摂り始めてから2時間後に、アラームをかけてもらうよう依頼している。



1シート10錠の被併用薬の薬剤シートを患者さまの服用方法に合わせてホチキスで纏め、服薬日を記入し、お渡ししている。
⇒患者さま: 飲み忘れを防ぐことが出来る
⇒CRC: 回収後、服薬遵守状況が確認しやすい



『糖尿病セミナー in 横浜』に参加しました。

2014年3月1日

鶴居先生のご講演から
内容を一部抜粋し、
ご紹介いたします！



演題 「インスリン患者の経済負担を考慮した薬剤選択」

医療法人 優雅 かねしろ内科クリニック 院長 鶴居 信昭先生

《症例1》74歳男性 糖尿病歴:28年 合併症:腎症2期、網膜症、神経障害

処方	A社 混合型(26単位)で来院 ⇒B社 超速効型(12単位)と B社 持効型(16単位)を処方	⇒	その後、医療費負担軽減のため C社 超速効型(18単位)と A社 持効型(18単位)へ変更
HbA1c	9.6%	⇒	9.3%
インスリン 負担額	(月額) 938円	⇒	887円
	(年額) 11,256円	⇒	10,644円

Q1: 糖尿病治療で不満に感じている点
はどのようなことですか?

(複数回答可)

- 77% 医療費が高い**
- 48% 長期の治療が必要、治らない
- 20% 治療効果が実感出来ない
- 15% 1日の薬の投与回数が多い
- 10% 薬の種類が多すぎる

Q2: 糖尿病治療費にかかる医療費の
負担額 をどのように感じますか?

- 46% 負担である**
- 40% たいへん負担である**
- 10% あまり負担には感じない
- 4% 全く負担でない (n=2,650)

Q1, Q2

「インスリン療法と医療費に関するアンケート」
(糖尿病ネットワークより)

《症例2》65歳女性 糖尿病歴:15年 合併症:腎症3期、網膜症(光凝固後)、神経障害

処方	経口血糖降下薬: フホルミン、α-GI A社 超速効型(55単位)と B社 持効型(38単位)を処方	⇒	経口血糖降下薬: フホルミン、α-GI C社 超速効型(54単位)と B社 持効型(38単位)へ変更
HbA1c	7.8%	⇒	7.7%
食後血糖	145mg/dl (1.5時間後)	⇒	102mg/dl (1時間後)
インスリン 負担額	(月額) 7,064円	⇒	6,363円
	(年額) 84,765円	⇒	76,356円

《症例3》46歳男性 糖尿病歴:15年 合併症:腎症3期

処方	A社 超速効型(30単位)と B社 持効型(20単位)を処方	⇒	C社 超速効型(24単位)と B社 持効型(12単位)へ変更 ※低血糖頻発のため単位数減
HbA1c	8.2%	⇒	8.3%
空腹時血糖	183mg/dl	⇒	117mg/dl
インスリン 負担額	(月額) 3,530円	⇒	3,182円
	(年額) 42,364円	⇒	38,185円

患者様の経済負担を考慮し、
薬剤を選択して処方した結果・・・



- ・他剤に変更することによって
コントロール悪化はみられなかった。
- ・医療費負担額が軽減された。

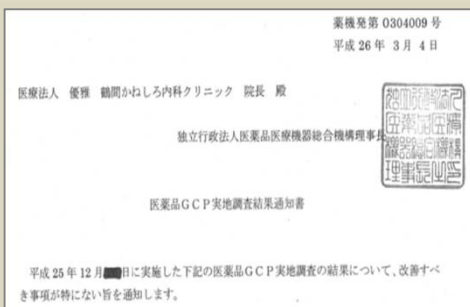
GCP実地調査

2013年12月実施

鶴間かねしろ内科クリニック

- 対象疾患:2型糖尿病
- ・第2相用量設定試験
 - ・第3相長期投与試験

「改善すべき事項が特にない」
との結果でした。



平成25年度
治験推進地域連絡会議
3月16日(日)参加しました。



襷をつなぐきずな駅伝 川崎イルミネーションマラソン

川崎市東扇島/東公園にて
4月19日(土)19:00スタート
2チーム4名構成で10km走破
結果! 35チーム中18位、26位



施設ツアー中監査官の質問に
答えるCRC

Global Audit

2014年4月(3日間)実施
医療法人 優雅 かねしろ内科クリニック

監査官2名(シンガポール、韓国より)
‘You are a great team!
You gave us prompt reply and
quick reaction to our requests.
The documents are kept without any problem.’
とコメント頂きました。